

サイレントキラーと呼ばれる腎臓病は早期発見が重要！

サイレントキラーと呼ばれる腎臓病は、はじめ自覚症状がないため多くの方が重症化して気づきます。一旦失われた機能は元には戻りません。そのためには早期に体の変化に気づくことが大切です。本日は、腎臓のメカニズムと早期発見のために日々観察して欲しいポイントをご紹介します。



本日の講師 医療法人埼玉会 埼玉草加病院 院長 大澤 勲 先生

大学病院や市中病院で腎炎やネフローゼ、腎不全の診療に従事してきました。腎臓病は治癒するものから長期に経過し末期腎不全に至るものまで様々です。患者様の生活や社会的背景、価値観にマッチした検査計画や治療選択の提示を心がけ、ひとりでも腎不全に陥る患者様を減らしたいと思っています。

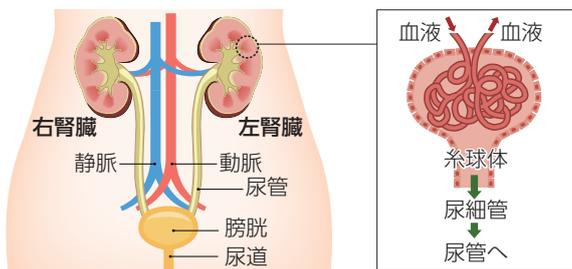
こんな体の変化はありませんか？ 一初期症状のサイン

- | | | | | | |
|------------------------------|-------|------------------------|-----|-----------------------------|-------|
| 1 | 尿の泡立ち | 2 | むくみ | 3 | 体重の増加 |
| 排尿後の便器に残る泡立ちが気になりませんか？尿蛋白かも？ | | 1日の中でむくむ場所が変わったりしませんか？ | | 毎朝トイレに行った後の体重が日に日に増えていませんか？ | |

! こんな体の変化に気づいたら腎臓に負担がかかっているかもしれません。塩分を控えた適切な食事や安静時間の確保をこころがけましょう。それでも症状が改善しない場合には、**腎臓内科**を一度受診することをお勧めします。

腎臓のメカニズム

腎臓は血液から尿を作る臓器で左右2つあります。片側の腎臓におよそ100万個の「糸球体」という装置があり、それぞれが体にとって不要な老廃物を尿として排泄します。腎臓病の多くはこの糸球体の機能が低下し、体に必要な物が尿として出てしまったり、排泄したい物が尿に出にくくなります。



こんな定期健康診断結果がでたら放置しない!!

- 尿検査で尿潜血や蛋白尿**
体に必要な物が尿として出てしまっている状態です
- 血液検査でクレアチンが高い**
排泄すべき物が排泄できていないサインです



! 上記のような健診結果が出たら、一度は**腎臓内科**を受診し、専門医による適切なアドバイスを受けることをお勧めします。特にクレアチン値が高い人はすでに腎臓の予備能力を使い切っているのかもしれない。残った機能を長持ちさせるためにも早めに受診しましょう。

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

監修：医療法人埼玉会 埼玉草加病院 院長 大澤 勲 先生



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

お問合せ先・担当者